

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第364号

08年07月27日発行

「特養ホーム増設を」の運動実る！

6500筆の署名が力に

06年春 地域の皆さんと都南跡地で
当時、都南病院移転
計画を受け、地域のみなさんと「跡地に特養ホームを」の要求を掲げ区内主要駅頭で毎週のように署名をいただきました。集まった署名をたずさえ議会に請願しましたが共産党を



除く各会派が否決して
地方自治体の役割りは
住民福祉の増進
品川区は「区民の多様なニーズにこたえるためにケアホームを建設する」として月額料が20万円から30万円もかかる有料老人ホームの建設を進めてきました。

います。
それ以後、党区議団は区民の介護実体を示しながら議会のたびに特養ホーム増設をせまってきました。



「都南病院跡地に特養ホームを」の運動から5年〜ついに実現

特別養護老人ホームの増設が決まりました。まちづくりに特別委員会に報告があり、八潮地域に特養ホームおよび認知症高齢者グループホーム、ショートステイ、介護予防拠点などの高齢者福祉施設を整備するとしています。

私は、地方自治体がおこなうべき仕事ではないと批判し、わずかな収入で入所可能な特養ホーム増設が区民の求める施設だとして増設を迫ってきました。



東京23区では21区が7000床を増設。品川区は増設を拒否してきた結果、高齢者人口対比での整備率は20番目です。申し込みは450名前後で、この内13%しか入所できません。

ん。この450名という待機者も区外の特養でも良いという方を除外、せまい申し込み基準でふるいにかけていきますので総数では700名をこえると考えられます。

運動と当たり前の要望、そして議会論戦のためものでもありません。

八潮地域は25年前に造成された団地です。

当時は若い世帯が移り住み、子どもたちで賑わいを見せた地域ですが、年月の経過とともに少子化が進んでいま

による組織が意見を出し合い論議をしている地域です。



す。団地の構成上、新たに住居戸数を増加させることが不可能なために現在「まちづくり」の見直しが進められています。

高齢化が進む中で、限られた年金収入しかなく介護を受けることが出来ないような「介護難民」を出すことは許されません。

入所希望者すべてが可能な施設増設をめざします



「こうした論戦を進める中で「八潮の南小・南中を改装し、2年後の開設を目指す」という品川区の報告は住民

八潮地域は小中一貫校として、統合されての教育が始まります。

私は、希望者数にあつた施設増設を進め、安心して老後を暮らせる地方自治体建設に力を尽くします。



無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ すずらん通り事務所

日時 次号掲載

午後6時～8時



前日まで15742-0010までお電話をください。